

まえばし 市議会だより

No.165
2023・11
前橋市議会発行



— 主な内容 —

- 第3回定例会の概要…………… P.2
- 会派別の質問事項…………… P.2～3
- 総括質問…………… P.4～10
- 議案の議決結果…………… P.11
- 意見書…………… P.12

前橋市立図書館企画展示

「未来への道標 —前橋市史と前橋市議会史—」

会期 令和5年12月28日まで

会場 前橋市立図書館 本館2階展示室

「前橋市史」と「前橋市議会史」に注目した企画展示です。旧議会棟の定礎から発見された資料や時代と共に変化してきた議会棟の写真の展示もあり、市議会のあゆみをたどることができます。



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

第三回定例会を九月五日から二十八日まで開き、令和四年度各会計決算認定など市長提出議案三十件、意見書案十一件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（9月5日）

阿部議長が第三回定例会の開会宣言後、会期を二十八日まで二十四日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、市長提出議案「附帯控訴の提起について（損害賠償請求事件及び損害賠償請求反訴事件）」を上程し、所管の部長か



各会計決算を説明する山本市長

ら提案理由の説明があった後、採決を行い、賛成全員で可決しました。

続いて、市長提出議案「令和四年度前橋市一般会計決算認定」など二十五件の議案を上程し、山本市長から各会計決算認定議案について、所管の各部長からその他の議案についてそれぞれ説明がありました。

○第2日（9月12日）

上程中の議案や市政に対し、十人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4頁、10頁に掲載）

○第3日（9月13日）

前日に続き、十二人の議員が総括質問を行いました。次に、上程中の議案のうち各会計決算認定議案十二件については更に詳しく審査するため、

各常任委員会に付託しました。

続いて、委員会への付託を省略した十三議案について、日本共産党市議団から「令和五年度前橋市一般会計補正予算」など二議案に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決しました。（議決結果は11頁に掲載）

次に、県外先進地調査のため議員派遣一件を議題とし、申し出のとおり承認しました。

○第4日（9月28日）

常任委員会に付託した各会計決算認定議案十二件の審査結果について、各委員長がいずれも可決及び認定すべきものと報告しました。

委員長報告の後、日本共産党市議団から反対討論、前橋令明、前橋高志会、公明党市議団、市民フォーラム、かがやきから賛成討論があり、採決を行った結果、各議案を委員長報告のとおり全て可決及び認定しました。次に、人事議案（件名及び氏名は11頁に掲載）四件の市長提

出追加議案を上程し、採決を行った結果、いずれも同意しました。

続いて、議会の意思として、市民の公益に関する意見を国会や関係行政庁に提出しようとする意見書案十一件を上程し、採決の結果、「脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の推進を求める意見書」など六件を可決し、第三回定例会は閉会しました。（可決した意見書の要旨は12頁に掲載）

会派別の質問事項

□前橋令明

- ①市長の市政運営と今後
- ②交通政策
- ③儲かる農業の実現
- ④森林環境税、森林環境譲与税
- ⑤市民の婚活
- ⑥市民の相談
- ⑦アーツ前橋10周年記念事業の取組
- ⑧水道事業におけるDX化の推進
- ⑨前橋の下水道
- ⑩観光庁の補助事業
- ⑪地域の諸課題
- ⑫ひとり親世帯フードパントリー
- ⑬自然災害の対応
- ⑭前橋駅北口一時預かり施設
- ⑮市営住宅入居
- ⑯電磁波対策
- ⑰外国人共生社会
- ⑱スポーツ振興
- ⑲子育て施設運営
- ⑳防災救急対応
- ㉑群馬総社駅整備
- ㉒シティブロモーション
- ㉓福祉事務所における就労支援
- ㉔障害者優先調達推進法
- ㉕上毛電鉄
- ㉖ふるさと納税
- ㉗電子地域通

4年度の各会計決算を認定
一般会計歳出決算額は1556億円



◀電子採決の様子

貨事業

□前橋高志会

①本市の財政②本市の危機管理③予防接種の取組④農業用ため池⑤前橋駅北口一時預かり施設⑥子育てひろば⑦土木事業⑧水質浄化センター更新事業⑨自治会タブレット⑩競輪特別会計⑪市役所のDX化⑫ひとり親家庭の支援⑬建設業における働き方改革⑭学校の暑さ対策

□日本共産党市議団

①(仮称)前橋市平和資料館の整備②(仮称)前橋市ハラスメント防止条例の制定③JＲ線の利便性向上④インボイス制度の問題点⑤新型

コロナウイルス感染症の再拡大防止策⑥市営住宅施策の総合的対策⑦認知症対策の強化⑧農作物の降ひょう被害対策

□公明党市議団

①敷島エリアブランドデザインの策定②こどもフードパントリー事業③千代田町中心拠点地区第一種市街地再開発事業④視覚障害者の情報取得⑤職員の働き方改革⑥空き家対策

□かがやき

①酒井氏歴代墓地②教育施策③都市計画施策と子育て施策④観光施策⑤スポーツ施設⑥デジタル社会と市民生活⑦防災、減災⑧空き地、空き家

対策⑨古典文化、芸能の鑑賞、理解、伝承⑩投票率向上

□市民フォーラム

①地域包括ケア体制整備②本市の交通政策③本市の保育環境④動物愛護⑤介護問題⑥水難災害⑦本市の交通安全対策⑧市職員の働き方

□さきがけ赤城

①遊休農地発生防止策②防災危機管理③道路敷地の管理

□なないろ

①子育て支援②道路管理

□赤利根

①新しい価値の創造

□七星

①本市子供たちが飛躍するための施策

令和4年度各会計決算

会計名	歳入	歳出
一般会計	1,619億2,203万円	1,555億7,345万円
国民健康保険	328億7,979万円	325億2,014万円
後期高齢者医療	48億8,969万円	48億7,985万円
競輪	299億720万円	296億4,497万円
農業集落排水事業	10億8,919万円	10億5,351万円
介護保険	332億8,734万円	326億2,080万円
母子父子寡婦福祉金	6,229万円	814万円
新エネルギー発電事業	1億4,877万円	1億4,304万円
用地先行取得事業	-	-
産業立地推進事業	21億5,201万円	21億5,184万円
合計	1,044億1,628万円	1,030億2,229万円
会計名	収入	支出
水道事業	89億266万円	103億8,045万円
下水道事業	100億5,867万円	123億326万円
合計	189億6,133万円	226億8,371万円

※金額は1万円未満を整理しています。
 ※水道事業・下水道事業の支出は、現金支出を伴わない減価償却費等を含んでいます。

用語解説

《上程》本会議で議題として取り扱うことをいいます。議題とするためには、議長がその案件を議題とする旨を宣告する必要があります。

《総括質問》議案に対する質疑と、行政全般にわたり事務の執行状況や方針案などをただす一般質問を併せて行う質問です。第三回定例会では二日間にかたり二十二人の議員が、2泊から3泊に記載の「会派別の質問事項」について総括質問を行いました。

《意見書》地方自治法に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、機関としての議会の意思をまとめた文書です。

議 会 日 誌

七月から九月までに開催した主な会議は次のとおりです。()内は開催回数です。

- 本会議(4)、総務常任委員会(3)、教育福祉常任委員会(3)、市民経済常任委員会(3)、建設水道常任委員会(3)、ICT利便性向上調査特別委員会(1)、議会運営委員会(5)、各派代表者会議(3)、正副常任委員長会議(1)



前橋 令明
鈴木 俊司



次期市長選挙に向けて

〈問〉次期市長選挙が目前です。山本市長が十一年半に及ぶ任期中に成し遂げてきたことを、未来に向かつて、市民、職員力を借り、連携しながら進んできたと評価しています。市長の三期目の任期は残り半年余りですが、住みよい前橋の実現のため、今後も精力的な活動により成果を上げてもらうことを期待するところですが、今後の前橋市政にとって、山本市長はなくてはならない存在であると考えます。市長として、次期市長選挙へ向けての所信を伺います。

〈答〉初めて挑戦したあるとき、皆さんに約束した公約は諦めるものもありましたが、ほぼ果たせました。そして、新たな任期として三期目をもらい、この中で約束したこと、マニフェストの百二十二の項目の多くを達成することができました。それ以上になるよう、私の政治経験の中で、継続の力でやれることがたくさんあることを確信しています。今までやり残してきたことは僅かですが、今の力を使えば、もっと大きな未来への市民

への希望を作り上げることができると思います。みんなが何となく希望が見えてきた、今度はその希望を実際につかむ、それが私の新たな役割として、次の市長選挙へ挑戦する決意を持っています。たいへん厳しい選挙になるかもしれませんが、希望を市民に届けることを自分の役割として、これからもやり続けていきたいと思えます。



前橋 令明
林 幸一



婚活への行政の後押し

〈問〉現在の日本では未婚者数が増加し、婚姻件数が減少している傾向にあります。結婚は出生率にも大きく関係し、婚姻率の上昇は、我が国の少子高齢化に歯止めをかける重要な要素だと思えます。市民の婚活について、行政の後押しや市の強力なリーダーシップが必要と考えますが、公的な結婚相談所の設置について、見解を伺います。

〈答〉本市では、協定を結んでいる民間団体や結婚相談所と協働し、よりよい出会いの場を創出するよう努めてきました。公的な結婚相談所の設置は、他の自治体の先進事例を参考に調査研究を進めたいと考えています。

男女共同参画相談業務

〈問〉男女共同参画センターは組織機構改革により、職員研修会館から議会庁舎へ移転しましたが、①男女共同参画相談業務の現状②議会庁舎に移転してからの課題について伺います。

〈答〉①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う在宅勤務や外出自粛などの影響により、相談件数が増加し、令和二年度から令和四年度にかけては年間千件前後で推移しています。相談者のほとんどが女性で、相談内容は離婚、子育てや介護の心配事、生きづらさなどです②複数の課がワンフロアに配置されているため、相談内容の秘匿性の確保が必要です。電話相談はコードレス電話を使用し、防音完備の相談室に移動して対応するなど、安心して相談できるような心がけていますが、市民にとって心落ち着く相談環境になるよう施設の課題を整理し、関係課と調整したいと考えています。



前橋 令明
小淵 一明



西片貝町の道路拡幅

〈問〉桂萱中学校南西を通り、前橋こども公園へと向かう西片貝町二丁目の道路は、令和三年

度に測量業務に着手し、令和四年度には道路拡幅としての用地の確保、令和五年四月には電柱移設が完了しました。道路幅を約九メートルに拡幅し、歩行者や自転車が行きやすくなるよう路肩部分を確保し、自動車の円滑な通行のために整備するものですが、進捗状況を伺います。

〈答〉令和五年度に道路改良工事を実施できるよう工事契約事務を進めています。工事期間は、令和五年九月から令和六年三月までとし、年度内に事業が完了する見込みです。

群大附中通線の整備

〈問〉群大附中通りの整備事業について、幸塚町交差点付近は工事に係る部分の移転が完了し、交差点北側付近には用地幅杭が設置されましたが、①幸塚町信号交差点付近の進捗状況と用地の取得状況②今後の計画について伺います。

〈答〉①道路改良工事を令和五年度に実施できるよう工事契約事務を進めており、年度内に交差点改良工事が完成予定です。進捗状況は、令和五年度末時点で全体事業費ベース三五%の進捗率となる予定です。用地の取得状況は、幸塚町信号交差点北側区画の一部関係地権者と用地

交渉を実施し、令和五年度内の取得を目指します②道路整備としては、群大附属中学校付近の整備済み区画から約二百七十メートルの道路改良工事と甲子橋の工事、業務委託としては大正橋の拡幅に伴う橋梁詳細設計、用地取得などの準備を進めます。



前橋令明
小岩井 僚太



新コンテンツの活用

〈問〉昨今、eスポーツやゲーム実況など、今までになかった新コンテンツが誕生しています。シティプロモーションとして新コンテンツを題材としたオフラインイベントを活用することについて、見解を伺います。

〈答〉オフラインイベントの開催は、多くの方に初めて本市へ来訪してもらう機会を提供できる新たな手段となりえるものであり、本市のプロモーション施策の一つとして効果的な取組になると思います。これまでも、多くの集客につながる事例もありましたので、先行事例などを研究し、新しいコンテンツの活用について広く検討を進めてい

きたいと考えています。

ふるさと納税を活用した支援

〈問〉ふるさと納税の寄附増額のためには、使い道となる事業への共感が重要と聞いています。全国では、社会課題を解決するNPO法人への支援制度がありますが、本市でもNPO法人支援の新制度を確立し、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した支援で、更なる寄附増額に向けて取り組むべきだと思いますが、見解を伺います。

〈答〉令和五年度はアーツ前橋十周年記念展などでクラウドファンディング型ふるさと納税を実施しており、こどもフードパントリー事業でも取り組む予定です。今後社会的意義のある事業に活用したいと考えますが、団体支援への活用についても、既存制度との兼ね合いを勘案するなど、積極的に検討したいと考えています。



前橋令明
佐藤 祥平



スポーツの振興

〈問〉本市には、サッカーや野球などのプロスポーツチームがあり、身近にプロスポーツとつながるリソースがあります。前橋市スポーツ推進計画の策定に

伴い、計画に基づくプロスポーツの考え方と市民に対する取組について伺います。

〈答〉プロスポーツの考え方としては、する、みる、ささぐる、このすべての側面から捉え、ふるさと納税を活用した支援の中で、ホーム戦の開催や地域貢献活動を通じて、各クラブと市民がスポーツに関われるよう取り組みます。市民に対する取組として、スポーツ施設の計画的な改修、各クラブのホーム戦の開催やボランティアに関する情報発信などを行い、各クラブにおいても、市民向けスポーツ教室の開催や市内学校との連携事業など、引き続き進めていきたいと考えています。

保育人材確保のための取組

〈問〉保育士の不足は全国的な課題となっており、本市においても同様と考えます。本市における保育人材の確保について、現状の取組を伺います。

〈答〉保育資格を有する人で、保育士として就業していない潜在保育士の再就職支援として、保健センターにおける相談支援を行っています。更に、保育士の専門性向上のため、保育士就職前研修業務をNPO法人まえばし保育ネットワークに委託し、



保育士の確保を



前橋高志会
笠原 久



財政調整基金

〈問〉令和四年度決算における財政調整基金の①状況②積み立ての考え方について伺います。

〈答〉①令和三年度決算の剰余金などの積み立てが約二十六億四千万円ある一方で、財源不足を補填するための取り崩しが約二十六億九千万円ありましたので、基金の残高は約七十八億五千万円と、令和三年度とほぼ同規模を保有しています②令和四年度決算では結果的に過去最高となる決算剰余金となりましたが、令和五年度以降、さまざまなことが平時へと移行する中、決算剰余金がコロナ禍前の状況まで減少することに伴い、基金

残高も大きく減少することが懸念されることから、できる限り基金残高を確保していくために積み立てを行いました。

予算の執行状況

〈問〉令和五年度一般会計予算の①令和五年六月末時点の執行率②第1四半期の予算執行率の特徴③今後の予算執行の考え方について伺います。

〈答〉①全体で約二・三%です②令和四年度比で、労働費では前橋テルサの指定管理委託料がなくなつたため執行率が低くなり、農林水産業費では農業集落排水事業の公営企業会計への移行に伴い、執行率が高くなりました③事業の必要性などを改めて確認し、社会情勢の変化に応じた効率的かつ効果的な予算執行に努めていきます。



前橋高志会
窪田 出



水質浄化センター更新事業

〈問〉六供町所在の水質浄化センターの更新事業は、予定期間で二十五年にも及びます。この間、工事車両などが頻繁に地域を往来しますが、町民の交通安全など、長期にわたる地元への対応について、見解を伺います。

〈答〉交通安全対策などについて



前橋水質浄化センター

では、受注した民間事業者と連携し、地域住民の不安解消に努めていきます。地元自治会を中心に、継続して密にコミュニケーションを取りながら更新事業を進めたいと考えています。

自治会へのタブレット配付

〈問〉自治会タブレット事業は各自治会長へ一台の配付ですが、自治会によっては役員にも欲しいなどの声があるようです。令和五年度の配付希望の実績を考えると、その需要の高さがうかがえますが、①今後の進め方②ツールやアプリなどの調査研究の実施について見解を伺います。

〈答〉①タブレットの配付について、現時点では自治会長以外に配付する予定はありません。自治会長のタブレットを基点とし、役員のスマートフォンを活用してネットワークを組むなど、各地区の状況に応じた活用方法を検討してもらいたいと思います②自治会内のニーズに応じた

アプリケーションにはどのようなものがあるのか、自治会一括交付金の活用なども含めて調査研究し、自治会のDX化を支援していきたいと考えています。



前橋高志会
山田 秀明



带状疱疹予防接種

〈問〉本市では令和五年四月から带状疱疹予防接種の任意予防接種に対する一部助成を開始しましたが、開始してからこれまでの①申請及び接種状況②申請数の推移③ワクチン別の接種内訳について伺います。

〈答〉①申請件数が令和五年八月末までの累計で四千三百七十九件、接種件数が令和五年七月末までの累計で二千五百六十七件です②制度開始当初の四月は千三百五十件程度でしたが、五月以降は六百件から九百件となり、問い合わせなどが途絶えることなく一定の申請が続いている状況です③二回接種が必要となる不活性化ワクチンが全体の九割、一回接種となる生ワクチンが一割となっています。

多面的機能支払交付金

〈問〉農業用ため池の土砂の浚渫については、国庫補助事業の多面的機能支払交付金で実施し

ていますが、この事業を活用した実績について伺います。

〈答〉令和四年度の実績ですが、浚渫が三件、用水路などの工事が十二件です。多面的機能支払交付金は、農業、農村が持つ自然環境の保全機能、景観の形成機能など、多面的な機能の保全を図る活動に必要な経費であれば、地域の創意工夫で幅広く利用することができるとして制度です。自由度が高い事業です。ぜひ地域で組織を作ってもらい、ため池の浚渫には活用を検討してもらいたいと考えています。



前橋高志会
藤江 彰



独り親家庭への就業支援

〈問〉会派で視察した大阪府堺市では、「ひとり親×仕事」サポートLINEを展開し、就業中のシングルマザーが隙間時間を活用して気軽に求職活動ができる体制を築いています。窓口とLINEを組み合わせて、個々の状況に応じた相談支援体制を築いていけば、経済的自立への一助になると考えますが見解を伺います。

〈答〉子育て中の女性や若者などの就職支援は、ジョブセンタ

「まあばしで行って、メールなどを使ったオンライン相談も実施しています。これにLINEを加えれば、独り親家庭の就業支援強化につながると思いますが、独り親家庭の支援に取組んでいくことも未来部と相談、連携しながら可能性を探っていきたくと考えています。」

小学校の暑さ対策

〈問〉近年は私たちが子どもの頃とは比較にならないほど暑さが厳しく、来年以降も続く可能性があります。児童生徒の安全を最優先に考えれば、夏休みの延長や運動会の開催時期の見直しを検討すべきと感じていますが、見解を伺います。

〈答〉令和六年度の運動会の実施時期について、小学校からの要望を尊重して検討したいと考えています。暑さ対策についても、引き続き子どもたちが安全に教育活動を行えるよう小学校と連携して進めたいと考えています。



日本共産党市議員
吉田 直弘



ハラスメント防止条例の制定

〈問〉人権侵害であるハラスメントをなくすことは、一人一人がたいせつにされ、多様性を尊重するまちづくりの観点からも

重要です。ハラスメントの防止と根絶、被害者の支援に取り組むためにも、条例制定について検討することが必要だと考えますが、見解を伺います。

〈答〉県の動向を注視し、仮称第二次人権教育・啓発の推進に関する前橋市基本計画の策定の中で、ハラスメントの理解と防止についても盛り込むことを検討します。

両毛線直通の高崎線の増便

〈問〉在来線の乗り換えなしで、座って都心へ向かえる直通列車はたいへん重要な存在です。そこで、JRが地域の実情を無視して減便しないよう、国に対してJRに強く求めるよう要望するとともに、JRに対して両毛線直通の高崎線の増便を強く求めたいと考えています。見解を伺います。

〈答〉利用者増を図ることで直通運行や運行本数の増につなげていきたいと考えています。また、沿線自治体により組織されている両毛線整備促進期成同盟会にて、直通列車の本数の見直しについて要望を上げています。



日本共産党市議員
長谷川 薫



インボイス制度

〈問〉免税事業者は、インボイス登録により消費税負担が発生して所得が減少し、登録しなければ取り引きから排除されるという不安があります。市内経済に大きな影響を及ぼすインボイス制度の導入中止や廃止を国に求めるとともに、小規模事業者を守るために導入後の影響の把握と対策を協議すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉事業者からの意見聴取を行い、的確な状況把握と必要な支援が展開できるよう努めたいと考えています。

感染の再拡大防止のために

〈問〉新型コロナウイルス感染症の再拡大防止のため、市民に感染状況が分かる情報を正確に提供すべきと思います。また、感染拡大と重症化抑制のためワクチン接種と検査体制や外来、入院の医療支援の強化が必要だと思いますが、見解を伺います。

〈答〉ホームページにおいて週ごとの感染状況、医療機関情報や感染対策などの情報提供を行っています。公費によるスクリーニング検査は、原則各高齢者

施設での対応をお願いしています。また、医療支援の強化については、今後の国の動向を注視していきます。



日本共産党市議員
近藤 好枝



認知症カフェ

〈問〉認知症当事者や家族に寄り添い、生の声を聞き、行政に反映し、認知症サポーターやオレンジパートナーへの質の向上と増員を行い、地域に身近な認知症カフェを抜本的に増やす取組を強化すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉増やすのは難しい状況ですが、より身近な場所でも様々なニーズに合った支援ができるよう体制の整備を進めていきます。

公共交通や買い物支援

〈問〉広瀬団地は本市最大の大規模団地ですが、路線バスが減便され身近なスーパーマーケットが撤退し、一つもなく、たい



広瀬団地

へん不便な地域になっています。本市の公営住宅施策としても公共交通をもっと便利にして、スーパーマーケットを誘致するなど総合的な施策を実施すべきと考えますが、見解を伺います。

〔答〕 運行事業者と買い物などに利用できるような路線変更や運行回数が増回など、利用促進のための見直し協議を重ねています。また、商業施設や福祉施設など、安心安全で、にぎわいにつながる住環境となるよう関係部署とも検討していきたいと考えています。



公明党市議員
中里 武



フードパントリー事業

〔問〕 フードバンクの対面、訪問と違い、フードパントリー事業は支援物資を梱包、宅配する形式に終わらず、その先の相談、支援につながるところが肝となりますが、考えられる手だてについて、伺います。

〔答〕 フードパントリー事業の目的を達成する取組や工夫については、食料などとともにさまざまな相談窓口の連絡先リストや各種支援制度を紹介する案内などを同梱することを予定しています。これにより、生活や子

育て、就職などに関する相談や独り親を対象とした各種手当、補助、貸付制度などについても伝え、必要な支援につなげます。

視覚障害者の日常生活用具

〔問〕 視覚障害者が自身の体調管理を行うために必要な音声式の体温計や体重計は、日常生活用具として給付されているものの、血圧計については給付対象に含まれていません。健常者と比較し必要な情報を取得しづらい中、日々の血圧を容易に把握することは重要であることから、改めて給付対象に加えるべきと考えますが、見解を伺います。

〔答〕 日常生活用具の給付対象の選定は、その必要性に応じて自治体独自で選定することが可能となっております。県内各市をはじめとし、全国中核市の多くの自治体で給付対象としているという調査結果を基に、音声式の血圧計を給付できるよう実施に向けて準備を進めています。

音声コードの普及を

〔問〕 視覚障害者は、自宅に届く郵便物などは補助ボランティアの代読か読み上げ装置を活用し、点字を読める人は、全体の1割と聞いています。各種印刷物や封書などに音声コードが印刷されていないことにより、確



音声コード使用例

出典：内閣府ホームページ
(<https://www8.cao.go.jp/shougai/onsei/onsei.pdf>)

認できず紛失、処分されてしまつては残念でなりません。行政から送られる公的通知、文書や広報、年金、医療、更には公共料金の通知など音声コードの記載が求められており、音声コードの普及に取り組むべきと考えますが、当局の見解を伺います。

〔答〕 行政が発行する行政情報のうち、どの文書について音声コードによる情報提供が必要かなどを検討し、可能なものから対応を行いたいと考えています。



かがやき
宮崎 裕紀子



生命の安全教育の充実

〔問〕 児童生徒がさまざまな暴力から自分の心と体を守るために全国展開されているCAPプログラムなどの重要な要素である教職員向けワークショップの導入について、見解を伺います。

〔答〕 教職員向けワークショップについて、教職員が学んでい

くことに関して警察などと連携して研究を進め、生命の安全教育の充実に努めていきます。

前橋総合運動公園の改修

〔問〕 前橋総合運動公園は開設から四十年以上が経過し、施設などの劣化箇所も少なくないと思います。国民スポーツ大会も近づいており、全国から選手を招くにふさわしい環境を整えることが必要と考えますが、今後の改修工事の考え方を伺います。

〔答〕 令和五年度に実施される中央競技団体の視察を踏まえ、国民スポーツ大会の基準を満たすような整備要望がなされるものと考えられますので、利用者が安全で快適にスポーツができる環境を目指し、計画的に改修を進めたいと考えています。

酒井氏歴代墓地の現状

〔問〕 紅雲町の龍海院にある酒井氏歴代墓地は大変貴重な史跡ですが、墓石に傾きが見られ、地震などによる倒壊を心配する声が寄せられています。また、墓地内の杉の老木の、倒木による墓地損壊も懸念されています。墓地の現状を伺います。

〔答〕 墓石の傾きの修復には地盤調査を含む抜本的な対策が必要ですが、修繕費用の面などから、現在はやむなく鉄パイプに



龍海院

よる補強で傾きの防止を図っています。また、杉の倒木による史跡の損壊対策ですが、管理者の龍海院と話を進めながら対応したいと考えています。



かがやき
岡田 修一



防災ノートの配布を

〈問〉さまざまな災害時に想定されるリスクを示し、災害への備えなどを総合的にまとめた防災ノートの配布は、市民の防災意識の啓発に寄与すると考えますが、当局の見解を伺います。

〈答〉現在、作成は行っていないが、防災ノートのようなハンドブックは手軽で、市民の皆さんにより親しみを持ってもらえる側面もあることから、スマートフォンでも閲覧できるデジタル化などの手法も含めて研究を進めたいと考えています。

高齢者への投票支援

〈問〉高齢化が進展する中、投票したくても投票所に行くのが

困難な高齢者の増加が考えられます。①令和六年の市長選などにおける移動期日前投票所の設置②投票所への移動支援策の導入について見解を伺います。

〈答〉①商業施設への期日前投票所設置並びにバスを利用した高等学校などへの移動期日前投票所設置の検討を進めています②移動支援策実現に向けた技術面、運用面における課題などを、関係部署と研究していきます。



市民フォーラム
三森 和也



イケア開業に伴う交通対策

〈問〉イケア開業に伴い交通量の増加と併せ、交通安全対策の観点も一層重要になってきます。自転車利用者も比較的多く見られ、また通学路に面している場所でもあります。そこで、利便性向上と安全対策の一環として、交通対策における当局の取組について伺います。

〈答〉臨時駐車場の確保など、周辺道路の渋滞緩和対策について商業施設の関係者とともに検討を進めています。また、マイカー以外でのアクセスの利便性向上策として、前橋駅から下川団地を運行している前橋玉村線の増便や、Gunma SS上で

バス運賃と商業施設で使えるサービスをセットにしたチケットなど、路線バスの利用促進策も併せて検討しています。更に、生活道路や一部通学路にも指定されているため、関係部署と連携しながら総合的な交通安全対策や効果的な渋滞緩和策を検討していきたいと考えています。



市民フォーラム
角田 修一



市職員の勤務時間の考え方

〈問〉市の窓口受付時間は午前八時三十分から午後五時十五分となっております。イケア・ジャパン株式会社は着替え時間分の賃金を支払いますが、業務の準備における端末の立ち上げ時間などにおける勤務時間の考え方について、見解を伺います。

〈答〉職員の勤務時間は、前橋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び規則で規定されています。窓口業務に係る専用端末の立ち上げなどの事前準備については、業務の一環であり、時差勤務を活用しての対応、または時間外勤務による対応となります。他市においては、働き方改革の一環で、窓口受付時間を短縮し、始業、終業時間に充てているケースもあるので、そ

ういった自治体の例も踏まえ検討していきたいと考えています。



市民フォーラム
大澤 智之



動物愛護ボランティアの支援

〈問〉TNR活動を行うに当たっては動物愛護ボランティアとの協力が必要であるとのことですが、そのようなボランティア活動に対して本市ではどのような支援を行っているのか、また課題についても伺います。

〈答〉TNR活動に関しては、捕獲用の捕獲器の貸し出しを行っており、現在は五台保有し、TNRなど適切な目的の場合にのみ貸し出しを行っています。数に限りがあるため一度に一台までとなっております。これについては、貸し出し台数を増やしてほしいという要望もあつたので、貸し出し方法を含め検討していきたいと思えます。また、TNRを含む猫の去勢、不妊手術費の補助については、飼い主のいない猫を専門に扱う、比較的安価で手術が出来る動物病院を案内していますので、市内の動物愛護ボランティア活動をし



総括質問



保健所へ相談を

ている人は気軽に保健所へ相談してもらえればと考えています。



さきがけ赤城
近藤 登



太陽光発電の地元説明会

〈問〉太陽光発電の設置に伴い、地元の人が全く知らない間に突如として工事が始まるのは問題があるように感じます。地元説明会の開催を義務づけているエリアの今後の動向について、当局はどのように考えているのか伺います。

〈答〉本市の再エネ条例では、赤城南麓の一部の地域を含む特別保全地区において、設置許可申請の一連の手続きの中で地元説明会を義務づけています。しかし、条例の対象とならない地域で設置される場合には、事業者が自主的に開催しない限り、地元説明会は開催されていないものと推察されます。一方で、条例施行から六年が経過し、再

エネ発電設備を取り巻く社会的、法的環境が変化してきており、制度上の課題も明らかになってきました。今後、条例の対象範囲や地元説明会の在り方も含めて、見直しに向けた検討を進めていきたいと考えています。



なないろ
入澤 繭子



生鮮食品の取り扱い

〈問〉フードバンクまえばしにおける、野菜をはじめとする生鮮食品の取り扱いについて、考え方を伺います。

〈答〉生鮮食品は保存方法などが難しいケースも多く、多量に取り扱った場合、需給のバランスを欠くことが懸念されていますので、取り扱いには難しいと考えています。

子どもからの意見聴取の取組

〈問〉令和四年度の児童福祉法の改正や民間における子どもアドボカシーの広まりなど、子どもの意見をしっかりと聴取することが重要であるという流れの中で、本市ではどのような取組が行われているのか伺います。

〈答〉子ども施策の策定などに、子どもの意見を反映させることが義務づけられたことを受け、意見を聞くための仕組みを検討

しています。その一つとして、前橋市民提案型パートナーシップ事業で子どもからの意見聴取方法研究事業を提示しました。



赤利根
岡 正己



赤城山の魅力的なコンテンツ

〈問〉赤城山頂は風光明媚で魅力的なロケーションとして、多くの人が訪れていると思います。一方、観光の活性化には、一度の訪問ではなく、リピーターとして何度も訪問してもらうことが重要です。例えば、あかぎ広場の管理棟などをサウナ施設として活用するなど、訪問する目的となる魅力的なコンテンツを造成していく必要があると考えますが、当局の見解を伺います。

〈答〉赤城山への再訪を促すコンテンツは、既存のものでも魅力的なものが多数ありますが、新たなコンテンツ造成の余地も多分にあり、サウナについても魅力的なコンテンツの一つであると考えています。現在、群馬県を中心に赤城公園の活性化に向けた動きが始まっていますが、好機と捉え、既存のコンテンツの魅力を引きながら、新しい魅力的なコンテンツの造成について、地元観光連盟や関係機関な

どと連携して取り組みます。



七星
中林 章



子どもたちへの大会出場支援

〈問〉部活動で関東、全国、国際大会に出場した子どもたちへの支援体制がふじゅうぶんだと思いますが、補助金の見直しについて、見解を伺います。

〈答〉教諭などが引率する場合、前橋市職員等の旅費に関する条例に準じて補助金額を算出します。県中体連体育連盟で一部の個人競技に保護者の引率を認めるようになったため、保護者にも補助金を交付できるようにする予定です。また、本市の各種スポーツ競技大会壮行金制度の選手一人当たりの交付額の増額についても検討し、制度の充実に取り組みたいと考えています。

ロボコン大会の拡大

〈問〉ロボコン大会は、子どもたちが未来を切り開くことができる事業です。予算を拡大し、積極的に進めるべきと考えますが、今後の見解を伺います。

〈答〉実行委員会の意見を聞きながら、一層の発展を後押ししていきたいと考えています。



議案の議決結果

第3回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

○市長提出議案

※賛成・反対の双方があった案件は網掛けで表示しています。

議案	件名	議決結果
第114号	令和4年度前橋市一般会計決算認定について	認定(多数)
第115号	令和4年度前橋市国民健康保険特別会計決算認定について	認定(多数)
第116号	令和4年度前橋市後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定(多数)
第117号	令和4年度前橋市競輪特別会計決算認定について	認定(多数)
第118号	令和4年度前橋市農業集落排水事業特別会計決算認定について	認定(全員)
第119号	令和4年度前橋市介護保険特別会計決算認定について	認定(多数)
第120号	令和4年度前橋市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計決算認定について	認定(全員)
第121号	令和4年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計決算認定について	認定(全員)
第122号	令和4年度前橋市用地先行取得事業特別会計決算認定について	認定(多数)
第123号	令和4年度前橋市産業立地推進事業特別会計決算認定について	認定(多数)
第124号	令和4年度前橋市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定(多数)
第125号	令和4年度前橋市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定(多数)
第126号	令和5年度前橋市一般会計補正予算	可決(多数)
第127号	令和5年度前橋市介護保険特別会計補正予算	可決(全員)
第128号	令和5年度前橋市水道事業会計補正予算	可決(全員)
第129号	前橋市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について	可決(全員)
第130号	前橋市一時預かり施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決(全員)
第131号	前橋市保健所関係使用料及び手数料条例及び前橋市旅館業法等施行条例の改正について	可決(全員)
第132号	前橋市粕川町込戸地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	可決(全員)
第133号	前橋市の議会の議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の改正について	可決(多数)
第134号	工事請負契約締結の議決事項の変更について(消防庁舎空調設備ほか改修工事)	可決(全員)
第135号	物品の購入について(プラネタリウム投映システム関連機器)	可決(全員)
第136号	本市が売却した土地における地盤の補強等に係る損害賠償の額の決定することについて	可決(全員)
第137号	附帯控訴の提起について(損害賠償請求事件及び損害賠償請求反訴事件)	可決(全員)
第138号	農業委員会の委員の任命について<猪岡 正一氏>	同意(全員)
第139号	人権擁護委員の候補者の推薦について<吉田 幸男氏>	同意(全員)
第140号	人権擁護委員の候補者の推薦について<福田 弘子氏>	同意(全員)
第141号	人権擁護委員の候補者の推薦について<島 千恵子氏>	同意(全員)

報告	件名	議決結果
第6号	道路管理の瑕疵による車両への物損事故に係る和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	承認(全員)
第7号	交通事故に係る損害賠償の額の決定の専決処分について	承認(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(○賛成、●反対)

議案番号	前橋啓明											前橋高志会					共産党				公明党			根フォーラム		かがやき		七		さ		赤		な				
	横山	新井	小	阿	鈴	須	林	堤	小	市	佐	富	藤	小	金	笠	窪	山	長	近	小	吉	中	石	新	高	角	三	大	岡	浅	宮	中	近	岡	赤	な	
第114号、第115号 第116号、第117号 第119号、第122号 第123号、第124号 第125号、第126号 第133号	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*議長は議決に加わらないため「/」で、欠席議員は「-」で表示しています。

*会派名:共産党(日本共産党前橋市議会議員団)、公明党(公明党前橋市議会議員団)、七(七星)、さ(さきがけ赤城)、赤(赤利根)、な(なないろ)

意見書

第三回定例会では、意見書案六件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の推進を求める意見書

脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の実現を目指すため、次の事項に対する取組を国に強く要望する。

①再エネ等の大量導入により大量廃棄が予想される太陽光パネルなどに対して、資源循環を促進するための制度の創設や適切な運用、精錬技術の開発や施設整備を促進すること②建築物において、長寿命化やリノベーションによる建築の価値の最大化を図るため、新たな基準の設定や優遇税制の創設を図ること③再生品の二次流通製品の製品安全担保等に関する環境を整備し、製品の適切な長期利用を促進する中古品取引を育成するとともに、製品の長期利用に資するシェアリングやサブスクリプション等のサービスの普及拡大を図ること

と④地域におけるバイオマスエネルギーの活用により、森林を保全しつつ、木材や木質資源の持続可能な活用を目指す森林・木材循環経済の実現や、紙おむつのリサイクルの普及に向けた自治体や事業者の取組を支援すること。

○下水サーベイランス事業の実施を求める意見書

PCR検査などでは感染者が自主的に検査を受けなければ陽性者を特定できないが、「下水サーベイランス（疫学調査）」を活用すれば、その地域の「見えない感染を見える化」でき、感染の初期段階から、医療機関の検査報告よりも早く感染の兆候が分かる可能性があり、感染の規模や増減の傾向も把握できる。

今後起こり得る感染のピークや傾向を把握し、新たな感染症に対応するために「下水サーベイランス」を全国の地方公共団体の下水処理場で実施すべきであることから、下水サーベイランス事業を促進するための措置を講じるよう国に強く要望する。

○自衛隊施設の強靱化を求める意見書

多くの自衛隊施設で、経年劣化による雨漏りや内装材の劣化、外壁の破損や基礎のひび割れなどから、修理不能で閉鎖されている建物もあり、早急な対策が求められる。

国民の安全・安心の確保、地域と国際社会の平和と繁栄の実現のため、自衛隊施設の強靱化に向けた予算の確保を含めた取組を着実に進めていくよう国に強く求める。

○子どもを性被害から守る早急な制度化を求める意見書

子どもへのわいせつ事件が発覚した教員らが別の地域で再雇用され、性犯罪を繰り返すケースが後を絶たない。卑劣な犯罪の再発を防ぐため、罪を犯した人物を子どもから遠ざける仕組みが必要である。

こども家庭庁は、英国の「前歴開示及び前歴者就業制限機構」(DBS)を参考に制度づくりを進め、性犯罪歴が確認された場合は、子どもと接する仕事に就けないようにすることが想定されている。子どもを性被害から守るには、性犯罪歴の照会制度をスタートさせることが重要であることから、早急な制度化を国に強く要請する。

二〇二〇年一〇月に国が宣言した「二〇五〇年カーボンニュートラル」で、電力部門の脱炭素化実現のため、再生可能エネルギーは最大限導入するとの指針が示された。

○蓄電システム拡大に向けた取組を求める意見書

再生可能エネルギーの大量導入を実現するためには、従来の集中発電から再生可能エネルギーを含む分散型発電を取り込んだ新しい電力運用への移行が必要であり、その調整力として蓄電システムは非常に重要な役割を担うことから、蓄電システム拡大に向けた取組を国に強く要請する。

○地方鉄道に対する支援の抜本的強化を求める意見書

地方鉄道の維持確保並びに支援に取り組むよう次の事項を国に強く求める。

①民間鉄道事業者の物価

及びエネルギー価格高騰の影響による減収補填策を講じるとともに、鉄道施設及び車両の管理、更新を支援すること②民間鉄道事業者の交通系ICカードのシステム整備、事業者が独自に実施する利用促進の取組など、経営基盤の安定化を支援すること③沿線自治体が民間鉄道事業者の利用促進のために行う車両更新や施設整備を含む支援事業に係る国の支援を充実すること④JRが列車ダイヤにおける運行計画を変更する場合には、JRの独自の判断だけでなく沿線地域住民の意向を尊重すること。

次回の定例会

第四回定例会は十一月二十九日(水)から十二月十五日(金)までの十七日間を会期として開催されます。六日(水)、七日(木)、八日(金)には議案や市政に対する総括質問が行われる予定です。

本会議の傍聴は議会庁舎七階の傍聴受付で受け付けます。